



ときめきの瞬間



手作りコンサートをお届けします

11月29日(金)

肥田小学校が創立140周年を迎えたことを記念して、6年生53人によるコンサートが肥田公民館・大ホールで開催されました。このコンサートは、企画から当日の進行まで全て児童の手作りによるもので、日頃お世話になっている地域の人たちを招いて行われました。児童たちは感謝の言葉とともにリコーダー演奏や合唱を披露し、約120人の観客を魅了していました。



災害前の予防が肝心

12月1日(日)

地域防災力の強化を推進するため、自治会役員などを対象とした防災講演会がセラトピア土岐で開催されました。講師は、「自然災害は昔から変わっていない。何度も経験しているのに災害に対する意識が変わらず、備えができていないだけ」と述べ、被害の想定とその備えが重要であることを説明しました。土岐市に震度6弱の地震が起きたときにどう行動すべきかという演習が出され、皆さん真剣に話し合っていました。



あいさつは魔法の言葉

12月5日(木)

人権擁護委員による人権教室が泉小学校附属幼稚園で開催されました。委員は「元気にあいさつすると、みんなが仲良くなれてみんなが気持ちいい。人権はみんなが仲良くすること」と語り掛け、園児たちは人を大切に作る心、思いやりの心の大切さを学びました。教室の最後には、園児全員が大きな声で元気に「ありがとう」とお礼を言っていました。



絵本でこころ豊かに

12月16日(月)

土岐ライオンズクラブが土岐津小学校附属幼稚園を訪問し、「土岐ライオンズ文庫」として絵本15冊をプレゼントしました。この絵本寄贈事業は青少年の育成・教育支援の一環として毎年行われており、本年度は市内全ての幼稚園・保育園と児童館へ合計370冊の絵本が贈られました。同クラブの会長は「大事に読んで、でも、ポロポロになるくらいたくさん読んで、楽しんでください」と園児たちに絵本を手渡しました。



苦しんでいる人を助けたい

12月1日(日)

南消防署で開催された救急救命講習会に33人の方が参加し、救急救命士から応急処置の重要性や心肺蘇生法の方法を教わりました。

実技講習では、人形を使って倒れている人の発見から通報、胸骨圧迫(心臓マッサージ)、AEDでの電気ショックなど一連の流れを繰り返し練習しました。参加者は、正しいやり方を確認するとともに「骨が折れていたときは?」「ベッドの上など柔らかいものの上で胸骨圧迫をしてもいいの?」など積極的に質問し、心肺蘇生法を身に付けようと真剣に取り組んでいました。



Voice

将来の夢が救急救命士なので、この講習会に参加しました。胸骨圧迫などは初めてやりました。大変だったけど、苦しんでいる人を助けたいという気持ちで頑張っていました。



第12回土岐市文芸祭

12月8日(日)

各部門に市内外から1,987人・3,569点の応募があった、第12回土岐市文芸祭の表彰式が文化プラザで行われました。表彰式に出席した上位入賞者21人が表彰を受けました。

小畑運営委員長は「深く対象物を意識して物の本質を見ること、自分なりの表現を工夫することが大事。これからもますます努力され、もっと素晴らしい作品を作られることを期待しています」と激励しました。



一般の部〈敬称略〉

賞名/部門	文芸祭賞	市長賞	教育長賞
現代詩	加藤はや (多治見市)	松本喬夫 (下石町)	いさじてつを (関市)
短歌	水野一 (岐阜市)	伴野せつ子 (多治見市)	山本陽子 (多治見市)
俳句	鈴木弘子 (肥田町)	日比野メイコ (可児市)	水谷広海 (可児市)
川柳	田中久元 (泉町)	廣瀬信子 (可児市)	山本順一 (可児市)
狂俳	阿部淳月 (各務原市)	安江弥生 (岐阜市)	川合淳子 (可児市)

小中学生の部〈敬称略〉

	現代詩	短歌	俳句
優秀賞	井上舞海 (濃南中1年)	塚本彩乃 (西陵中2年)	山口空 (泉小6年)
	加藤沙彩 (濃南中1年)	岸本紗季 (西陵中2年)	鬼頭浩志 (肥田中3年)
	羽柴沙紀 (濃南中1年)	西山隼平 (泉西小3年)	加藤大和 (妻木小5年)